

令和元年11月6日開催 小平市地域公共交通会議 会議要録

1 日 時

令和元年11月6日（水）10時00分から11時00分まで

2 場 所

小平市役所3階 庁議室

3 出席者

小平市地域公共交通会議委員 12人
事務局（都市開発部 公共交通課） 3人
（傍聴者 2人）

4 会議次第

- 1 開会
- 2 小平南西部地域コミュニティタクシー<上水本町・一橋（鷹の台駅東側）ルート>実証実験運行の利用状況について
- 3 小平南西部地域コミュニティタクシー<鷹の台駅西側ルート第2期>再実証実験運行の実施について
- 4 その他
- 5 閉会

5 配布資料

- ・小平南西部地域コミュニティタクシー<上水本町・一橋（鷹の台駅東側）ルート>実証実験運行の利用状況（資料1）
- ・小平南西部地域コミュニティタクシー<鷹の台駅西側ルート第2期>再実証実験運行の実施について（概要）（資料2）
- ・コミュニティタクシー 再実証実験運行<鷹の台駅西側ルート第2期（案）>（資料3）
- ・コミュニティタクシー再実証実験運行<鷹の台駅西側ルート第2期> 停留所一覧（案）（資料4）
- ・南西部地域コミュニティタクシー<ぶるべー号>に関するアンケート（参考資料）

6 会議内容

1 開会

都市開発部長の挨拶、出席委員及び資料の確認、傍聴者への対応

2 小平南西部地域コミュニティタクシー<上水本町・一橋（鷹の台駅東側）ルート>実証実験運行の利用状況について

事務局から資料1及び参考資料に基づき説明

会長

ルートを検討し、実証実験運行に入る時点から通学路の問題やスクールゾーンなど、通りたいところを通れないという事情があった事は、皆さんもこれまでの協議の中で承知していると思うが、残念ながら結果としての数字は非常に厳しいものになっている。

3 小平南西部地域コミュニティタクシー<鷹の台駅西側ルート第2期>再実証実験運行の実施について

事務局から資料2から資料4に基づき説明

委員

3番（白梅学園東）と14番（創価学園西）の停留所は道路の反対側にあるが、名称が異なっている理由はあるのか。その他の道路の反対側にある停留所同士は同じ停留所名となっている。

事務局

両方の学校の名称を使うことで偏りが出ないのではないかという意図から別々の名称としている。今後、同じ停留所名称の方が分かりやすいということになれば、「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会」において検討の上、変更する。

委員

扱いとしては違う停留所ということでよいか。

事務局

そのとおり。

会長

一般的には、両方の学校の名前を併記して1つの停留所名としている。例えば「白梅学園・創価学園」というように、2つの学校名を併記した停留所にして両方同じ名前にする。

事務局

「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会」で検討し、少しでも分かりやすい、利用してもらえる停留所名にしていく。

委員

運行時間については、30分を考えていたが、今回10番のいなげや小平小川橋店に停留所を設けることになった。これは高齢化の中で、カートを押したりして買い物をしている状況で、ここに停留所ができることで、若干時間は伸びるものの、いなげやの方も全面的に協力していただけて、バス停の位置も出入口に近いところに設置してもらえることになった。少し運行時間は伸びたが、交通管理者としてもこのルートは良いのではないかと考えている。

会長

10番の停留所がちょうど折り返しの場所を兼ねたところになっている。

委員

9番から10番の停留所までのところのルートが長くなっている。

事務局

今回は「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会」の参加者と頭を悩ませながら、これまで実施してきた実証実験運行の2ルートとも利用が思わしくなかった中で、乗車しなかった理由は何かということを考え、ルートの検討を進めてきた。その中で生活交通という視点で買い物先、通院先、小平の特徴である活発な地域活動の場である公共施設につなげることで、コミュニティタクシーの目的である地域活性化につながるルートだと考えている。

なお、鷹の街道では西武バスの国分寺方面に行く路線と一部重複しているので、競合を避けるために通過するだけとしている。この点については問題はないか。

委員

問題ない。

会長

前回の実証実験運行で乗車した際に聞いた声としては、前回のように地域を巡回する一方向のコースにしてしまうと、行きは良いが帰りは大変という意見があったので、今回のようにある程度のところまで同じ道を行って帰ってくる形になることでニーズに合ってくるのではないかと考えている。

特に他に意見が無ければ、このような形で再度実証実験を行うということで、運行車両の移動円滑化除外も含めて、承認いただけるということでよろしいか。

委員

異議なし。

会長

それでは、資料2にある内容で準備を進めていただき、円滑に実証実験運行ができるようお願いしたい。

事務局

停留所名称や時刻表が確定したら、各委員に報告する。

4 その他

事務局から、以下の点について報告。

- ・小平市の公共交通に対する基本的な考え方の見直しに向けた検討体制について
- ・道路工事による令和元年度上半期のコミュニティバスにじバスの乗車実績大幅減について
- ・地域公共交通会議任期満了に伴う継続就任について

質疑なし

会長

その他、各委員から何かあるか。

委員

2020年オリンピック・パラリンピックの聖火リレーに関して、かなりの交通規制がかかるはずなので、公共交通機関には影響がでてくると考えている。市内は踏切や川があり、大幅なう回が必要になる想定である。交通機関にかなりの協力をいただかないと実施できない状況である。ルートが決まり次第、ご意見ご協力いただきながら実施していきたいので、協力をお願いしたい。

会長

それでは本日予定していた議事は全て終わったので、以上で令和元年度第2回小平市地域公共交通会議を閉会とする。